

市民講演会

身の周りの科学から震災まで

— 寺田寅彦とサイエンスの今 —

2011 年 12 月 3 日 (土)

13:30 ~ 17:30 (開場 12:30)

神田 中央大学駿河台記念会館



伊藤智義

千葉大学大学院
工学研究科
教授

科学者の自由と勇気

Profile: 東京大学教養学部基礎科学科第一卒業。学部在学中に「栄光なき天才たち」(集英社ヤングジャンプ)の原作を執筆、寺田寅彦など多くの科学者に光をあてた名作は広く知られている。同大学院で理論天文学の杉本大一郎に師事し、天文計算専用コンピュータ GRAPE の開発を行う。著書に「スーパーコンピュータを 20 万円で創る」(集英社新書)、現在の専門は計算機科学。



近藤 滋

大阪大学大学院
生命機能研究科
教授

キリンの模様がつなぐ物理学と生物学

Profile: 京都大学医学研究科博士課程修了(免疫学)。東大、スイスバーゼル大で研究中に、チューリングの理論に出会い、一瞬にして虜になる。この素晴らしい原理を、ほとんどの生物学者が信じていないことに驚き、なんの目算もなく「証明したる!」と誓う。5 年後、水族館で、チューリング波の生きた証拠を発見。その後、専門を免疫学から数理発生学に変え、今に至る。



松下 貢

中央大学大学院
理工学研究科
教授

フラクタルの目で自然を見る

Profile: 東京大学理学系研究科物理学専攻博士課程修了、東北大学電気通信研究所助手などを経て、1987 年より現職。光物性と統計力学の研究を行う。1982 年頃からフラクタルの研究に従事し、結晶やバクテリアなどの成長するパターン形成の新分野を開拓。ここ数年は、寺田寅彦の随筆の英訳や海外への紹介も精力的に行っている。著書多数。分かりやすい解説などで定評。



石橋克彦

神戸大学
名誉教授

地震列島の原発

Profile: 東京大学理学部地球物理学科卒業、東大大学院理学系研究科博士課程修了。東大理学部助手などを経て、2008 年まで神戸大学都市安全研究センター教授。1976 年に東海地震説のもとになった「駿河湾地震説」を発表。1997 年には、地震災害と放射能災害が複合的に起こる「原発震災」の危険性を予測し警鐘を鳴らした。専門は地震テクトニクス、歴史地震学。

司会：内田麻理香

サイエンスライター

Profile: 東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻修士課程修了、同工学系研究科・工学部広報室特任教員などを経て、大学院情報学環・学際情報学府博士課程に在籍中。著書に「カソウケン(家庭科学総合研究所)へようこそ」(講談社)など多数。



International Symposium
on Complex Systems 2011
(ISCS2011) 実行委員会